



がたくさんあるので教員は助かる。  
教員の業務を支援する人の配置を  
進めてもらいたい。

## 特別支援教育について

**香教組**

特別支援学級の定員を6名とする  
こと。特別支援学級は障害の種別  
によるので小学校では1年生から  
6年生までそろうことになる。回答  
では、学校の実情に応じた教員  
の適正な配置に努めるとあるが、  
県の方から特別な配置はできるか。

**県教委**

特別支援学級の定数8人は国が基準と  
している。先週、教育長が改善を  
要望してきた。定数8人というこ  
とは本当に様々なところから意  
見をいただいている。実態に応じ  
た定数の改善をしてほしいとい  
うことを国に対して、様々なあらゆ  
る機会を捉えてしっかりと伝えてい  
きたい。

県独自としては、専任の特別支  
援教育コーディネーターの加配措  
置をしている。このことの継続措  
置と活用しながら、特別支援教育  
について検討している。

**香教組**

特別支援教育コー  
ディネーターの加  
配措置によって、困難を抱える子  
どもたちが増えてきている中、学  
校は対応がうまくいく。続けても  
らいたい。

寄宿舎指導員の適  
正配置を行うとともに  
に、新規採用を継続すること。  
近年、新規採用を  
継続しているところ  
である。定年延長も考慮しながら、  
今後も新規採用を継続していく  
い。

**県教委**

香教組

特別支援教育コー  
ディネーターの加  
配措置を行って、困難を抱える子  
どもたちが増えてきている中、学  
校は対応がうまくいく。続けても  
らいたい。

**香教組**

香教組も署名運動  
などで取り組んでい  
るが、県教委も今後も採用を続け  
てもらえるとありがたい。

**香教組**

特別支援学校、特  
に知的支援学校は教  
室不足や施設の狭隘化が生じてい  
る。今年度、丸亀支援、中部支援  
学校で仮校舎の設置となっている  
が、新設などの予定はないか。

**県教委**

丸亀支援学校につ  
いては、今年度実施  
設計の方を入れている（北教室棟  
改築実施設計）。中部養護学校は  
基本設計の方に入っている（給食  
棟改築基本設計）。特別支援学校  
の設置基準も策定されたので、そ  
の設置基準を満たすようにしてい  
る。

**県教委**

丸亀支援学校につ  
いては、今年度実施  
設計の方を入れている（北教室棟  
改築実施設計）。中部養護学校は  
基本設計の方に入っている（給食  
棟改築基本設計）。特別支援学校  
の設置基準も策定されたので、そ  
の設置基準を満たすようにしてい  
る。

**香教組**

この研修、受けて  
いる受けていないを  
直接的に評価するものではないと  
いうことである。この趣旨自体は、  
管理職と教員が対話の中で、先生  
しっかりやつてもらうということ  
である。

**県教委**

書き込んでなかつた  
から評価を下げるということは？

**香教組**

例えば、きちんと  
書き込んでなかつた  
から評価を下げるということは？

**県教委**

そうということでは  
ない。

**香教組**

働き方改革については、基本的  
な対応は定数とか、そういう感じ  
でいいだろうとは思う。けれども、  
やはり業務そもそも見直しをやつ  
ていかないとなかなか進まないと  
思う。この点は、引き続力を入  
れたいが、やはり学校経営の責任  
者は校長である。校長の意識が変  
わらなければ、話があつたよう  
に次々と仕事が増えて、結果的に閉  
塞感を増すということになると本  
末転倒である。これはしっかりと  
留意していきたい。

教職員組合との意見交換は、私  
自身はお互いに意見交換すること  
によって現場なり、職員がよりよ  
く理解できる環境を作りたいと思  
う。この点は、引き続力を入れ  
たいが、やはり学校経営の責任  
者は校長である。校長の意識が変  
わらなければ、話があつたよう  
に次々と仕事が増えて、結果的に閉  
塞感を増すということになると本  
末転倒である。これはしっかりと  
留意していきたい。

**香教組**

この間、乗ずる数や特別支援学  
級の定数、通級学級の13人に話と  
かを早めに対応しようとしてきた  
のは、いろんな意見交換の中から  
出てきたものである。定数などい  
わゆる仕組みの話、制度の話は國  
の方にしっかり要望している。  
教師の学びの姿や笑顔が子ども  
の学びの姿や笑顔と相似形になる  
話が出てきたが、そこには主体性  
が尊重されるべきではないかと私  
は思っている。

**香教組**

働き方改革については、基本的  
な対応は定数とか、そういう感じ  
でいいだろうとは思う。けれども、  
やはり業務そもそも見直しをやつ  
ていかないとなかなか進まないと  
思う。この点は、引き続力を入  
れたいが、やはり学校経営の責任  
者は校長である。校長の意識が変  
わらなければ、話があつたよう  
に次々と仕事が増えて、結果的に閉  
塞感を増すということになると本  
末転倒である。これはしっかりと  
留意していきたい。

教育シンポジウム開催  
6月29日(土)13時から「学校現場を改善し、豊かな教育の実現を求めるシンポジウム」が香川県教育会館「ミューズホール」で開催されます。

講師は全労連議長（元全教委員長）の小畠雅子さんです。パネルディスカッションもあります。教育の現状の問題を解決するにはどうしたらいいか、ともに考えませんか？

参加料はいりません。香教組組合員は交通費を支給します。

い方向に向かっていくというのが  
目的であると思っている。

交渉に臨む淀谷教育長

**無料公開**

### 学校現場を改善し、 豊かな教育の実現を求める シンポジウム

日時：2024年6月29日(土) 開場・受付開始 12:30

場所：香川県教育会館「ミューズホール」

住所：香川県高松市西宝町2丁目6番40号

13:00 開会・講演… 学校の危機を開拓するため「教育現場の実態と『給特法』」  
14:15 ディスカッション… 教育職場の現状と問題  
—望まれる教育現場とは—  
15:15 参加された皆さまへ「呼び掛け」  
15:30 閉会

**講師プロフィール 小畠 雅子 (おばた まさこ)**  
全労連(全国労働組合総連合)議長

埼玉県浦和市(現さいたま市)生まれ。埼玉大学教育学部を卒業。  
埼玉県志木市の公立小学校勤務を経て2002年に埼玉県教職員組合の専従に  
2015年全教(全日本教職員組合)書記長、2019年委員長を経て、2020年7月  
に全国労働組合総連合(全労連)で初めての女性議長に就任。

子どもたちの「まなびや」は、そこで働く人たちは、  
いま、どうなっているのか？

主催：香川県労働組合総連合（香川県労連）連絡先：香川県高松市松島町1-17-10 ☎ 087-816-5382  
共催：香川県高等学校教職員組合・香川県教職員組合・香川県私立学校教職員組合連合